

特定非営利活動法人 そらべあ基金

2009年度年次報告書

ANNUAL REPORT (2009/4-2010/3)



© Shinzi Katoh

ごあいさつ

2009年度、そらべあ基金は多くの方々に支えられ、さらなる躍進を遂げることができました。その筆頭が全国の幼稚園・保育園に太陽光発電設備を贈る「そらべあスマイルプロジェクト」です。応援して下さる企業が一段と増え、今年度はソニー株式会社、ソニーマーケティング株式会社、ソニー損害保険株式会社、シチズン時計株式会社の協賛により、年度内に8基を設置することができました。2010年4月に完成した3基を加えると、現在までに合計で14基の「そらべあ発電所」が、各地に誕生したことになります。

この他にも、多くの企業や個人の方々のサポートにより、「そらべあ感想文・感想画コンクール」や「環境教育ワークショップ」など、さまざまな活動を行うことができました。今後もそらべあスマイルプロジェクトや環境教育などを通じて、子どもたちに明るい未来を手渡せるよう努めてまいります。



特定非営利活動法人
そらべあ基金
代表理事
岩間敏彦



そらべあスマイルプロジェクト詳細 (2010年5月31日現在)

	協賛企業	募集期間	応募総数	当選園
第1回	ソニー株式会社	2008年4月14日(月)～6月16日(月)	150園	東京都葛飾区 東江幼稚園 兵庫県明石市 山手台保育所 佐賀県神埼市 大立寺幼稚園
第2回	ソニーマーケティング株式会社	2009年1月26日(月)～2月20日(金)	54園(自動繰り越し参加を希望した21園を含む)	埼玉県さいたま市 岩槻バンビ保育園 群馬県富岡市 かしの木保育園 福岡県北九州市春の町保育園 熊本県上益城郡 滝尾幼稚園
第3回	ソニー損害保険株式会社	6月29日(月)～7月31日(金)	55園(自動繰り越し参加を希望した40園含む)	栃木県那須塩原市 創造の森保育園
第4回	ソニー株式会社	9月25日(金)～10月23日(金)	204園(自動繰り越し参加を希望した49園を含む)	福島県須賀川市 栄光保育園 広島県広島市 的場幼稚園 宮崎県小林市 まがた保育園
第5回	ソニー損害保険株式会社	2010年1月4日(月)～1月29日(金)	237園(自動繰り越し参加を希望した171園を含む)	長崎県南島原市 長野保育園
第6回	シチズン時計株式会社	2月1日(月)～2月26日(金)	245園(自動繰り越し参加を希望した223園を含む)	埼玉県鴻巣市 どんぐり保育園 山梨県甲斐市 光保育園

そらべあ基金の2大事業

■ グリーン電力の普及啓発

■ 環境教育

「グリーン電力の普及啓発」と「環境教育」は、そらべあ基金がNPO法人として活動する目的の柱となる2大事業です。今年度は主に、全国の幼稚園・保育園に太陽光発電設備を寄贈するそらべあスマイルプロジェクトや、次世代を担う子どもたちに対してワークショップ、環境授業などを展開しました。

□そらべあスマイルプロジェクト

本プロジェクトは、全国の幼稚園・保育園に太陽光発電設備「そらべあ発電所」を寄贈することで、CO₂を排出しないグリーン電力の創出を実現すると同時に、環境の大切さをより多くの子どもたちに学んでもらうことを目的としています。

2年目を迎えたそらべあスマイルプロジェクトには、ソニー株式会社、ソニーマーケティング株式会社、ソニー損害保険株式会社、シチズン時計株式会社の4社が協賛企業として参加。2010年4月に完成した3基を加えると、現在までに全14基のそらべあ発電所が稼働し、各地でグリーンな電力を生み出しています。



□環境教育ワークショップ

ソニー株式会社の協力、当基金理事で東京造形大学の山際康之教授監修



のもと、環境教育ワークショップを実施。埼玉県さいたま市の岩槻バンビ保育園の園児約30人が参加しました。内容は、そらべあの劇で得た地球温暖化についての知識を、体操やお絵かきなどを通して体に染み込ませるといったもの。企画から実施までを、東京造形大学の学生が中心となって行いました。今回の成果をもとに、引き続きワークショップの内容をより良いものにしていきます。

□そらべあ感想文・感想画コンクール

絵本「そらべあ」とアニメーション「そらべあ物語」を題材に感想文と感想画を募る「そらべあ感想文・感想画コンクール」を毎日新聞社と創設しました。全国の小学生から寄せられた作品は、感想文551点、感想画727点。この中から入賞者4名と特別賞1校を表彰しました。



□そらべあGエネproject

そらべあ基金から誕生した学生団体「そらべあ基金学生事務局」では、学生によるグリーン電力普及プロジェクトを展開しました。これまで大口販売が一般的だったグリーン電力証書を、学生でも気軽に使用できるように、小口共同購入のスキームを採用。6校の学園祭で、合計4,200kWhの「そらべあグリーン電力証書」の導入を実現しました。



□Solar Songs in Odaiba 2009

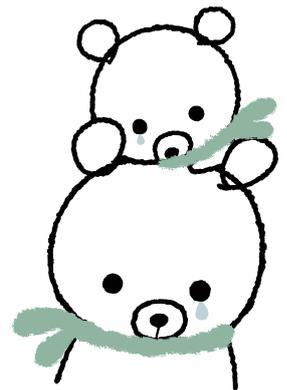
～太陽の恵み100%春のそらべあ祭～

お台場・潮風公園内のソーラー発電施設「ひだまり〜な」とソーラートラックを利用した、太陽エネルギー100%による音楽ライブを開催。多くのそらべあファンが集まり、記念撮影なども行われました。



□しんぶんしでつくるエコバッグ

多くの家族が集う環境イベントなどを中心に、エコワークショップ「しんぶんしでつくるエコバッグ」を開催しました。材料には、毎日新聞社の協力で、同社のフリーペーパー「マイECO」のバックナンバーを使用。楽しみながら3R(リデュース・リユース・リサイクル)の大切さを学んでいただきました。



©Shinzi Katak

コラボレーション

企業とのパートナーシップにより、さまざまな事業が実現しました



コーズ・リレーテッド・マーケティング

そらべあ基金を応援するサポーター企業の多くは、そらべあを活用した社会貢献活動「コーズ・リレーテッド・マーケティング（以下、CRM）」を展開しています。CRMとは、企業が売り上げの一部を、社会に貢献する事業を行うNPO / NGOなどの組織に寄付することで、事業活動と社会問題の解決を同時に実現しようという考え方。消費者は日常の買い物のなかで気軽に社会貢献活動に参加できると同時に、企業は売上アップやブランド力の向上が望め、NPO / NGOも資金調達ができるというWin-Win-Winの関係を作ることができます。

ソニーの電池×そらべあ

(ソニー株式会社)

電池および充電電池・充電器の商品パッケージに「一緒に育てようグリーン電力」のキャッチフレーズとそらべあのイラストをデザイン。売り上げの一部は寄付金として、第4回そらべあスマイルプロジェクトの費用に充てられました。



CycleEnergyはソニー株式会社の登録商標です

ソニー損保×そらべあ

幼稚園にソーラー発電所を☆プログラム

(ソニー損害保険株式会社)

自動車保険契約時に予想走行距離を申告してもらい、契約期間中の実際の走行距離が予想を下回った場合、距離100kmにつき1円がそらべあ基金に寄付されるプログラムです。2009年3月のスタートから翌年3月までの予想よりも走らなかった距離は、約12億kmにのびました。契約者一人ひとりが、自動車の利用をほんの少しだけ減らすことで、CO₂排出量は減り、そらべあ発電所が全国に広がっていきます。



そらべあ×シチズン エコ・ドライブキャンペーン

(シチズン時計株式会社)

光発電時計「エコ・ドライブ」を販売するシチズン時計は、太陽光発電をはじめとするグリーン電力の普及を目指すそらべあ基金に賛同し、売上金の一部を寄付。対象商品購入者には、「そらべあ×シチズン」携帯ストラップがプレゼントされました。



そらべあグリーン電力証書

(日本風力開発株式会社)

日本風力開発が所有する風力発電所で発電された電気がCO₂排出量の少ない電力であることを証明するための証書です。購入することで、環境に配慮して発電された電気を使ったとみなすことができます。証書の売り上げは、新たな風車の設置やそらべあ基金への寄付に使われるなど、さらなるグリーン電力の拡大に寄与します。



エコ対応ケース

(株式会社ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント)

一部のDVD商品で、プラスチックの使用量を約35%減らしたエコ対応ケースを採用。ケース導入にあたり、そらべあのロゴシールが貼付されました。これにより導入開始から1年間で、約23トンのCO₂削減に成功しました。



そらべあグッズ

各社から販売されているそらべあグッズは、すべて寄付金付き商品です。購入することで、そらべあ基金の活動を応援することができます。



2009 年度活動一覧

メディア掲載

そらべあ基金の活動がさまざまなメディアに取り上げられました。その一部をご紹介します(順不同)

【テレビ】

ゴジてれ Chu!Ⅲ(福島中央テレビ)、THE NEWS-f(テレビユー福島)、MRT THE NEWS(宮崎放送)、UMK スーパーニュース(テレビ宮崎)、旬感テレビ派ッ(広島テレビ放送)、HOME J ステーション(広島ホームテレビ)、ニュース 845(NHK 広島放送局)、朝まる JUST(チバテレ)

【新聞】

毎日新聞、読売新聞、朝日新聞、西日本新聞、中国新聞、福島民報、福島民友、宮崎日日新聞、電気新聞、電波新聞、マメタイムス、化学工業日報

【雑誌】

マイ ECO、NIKKEI DESIGN、月刊 Sym+Press、月刊建設資材情報

【ラジオ】

LOHAS SUNDAY(J-WAVE)

【WEB】

毎日 j p、Yahoo! ニュース、マイコミジャーナル、環境 goo、Green TV Japan、ジラスニュース、Polo スペシャルサイト

そらべあ便り

そらべあサポーターズクラブの法人・個人会員向けに、会報誌「そらべあ便り」を年4回発行しました。



イベント一覧



- | | | | |
|-------|-----|---|---|
| 2009年 | 4月 | Earth Day Tokyo 2009 | ■ |
| | 5月 | 「Solar Songs in odaiba 2009」～太陽の恵み 100%春のそらべあ祭～ | ■ |
| | | そらべあ発電所完成記念式典(群馬県富岡市かしの木保育園) | ■ |
| | | そらべあ発電所完成記念式典(埼玉県さいたま市岩槻バンビ保育園) | ■ |
| | | そらべあ発電所完成記念式典(福岡県北九州市春の町保育園) | ■ |
| | 6月 | そらべあ発電所完成記念式典(熊本県御船町滝尾幼稚園) | ■ |
| | | そらべあ基金学生事務局「第2回活動創出型そらべあ環境セミナー」 | ■ |
| | 7月 | 品川区「太陽エネルギー見本市」 | ■ |
| | 8月 | メディアージュ 夏休み親子向けワークショップ | ■ |
| | | 「そらべあといっしょにつくろう! しんぶんしのエコバッグ」 | ■ |
| | 10月 | メディアージュ「エコフェスタ」 | ■ |
| | 11月 | そらべあモニュメント1周年～そらべあ感謝祭～ | ■ |
| | | ライフスタイルフォーラム 2009 | ■ |
| | 12月 | そらべあ発電所完成記念式典(栃木県黒磯市創造の森保育園) | ■ |
| | | エコプロダクツ 2009 | ■ |
| 2010年 | 1月 | メディアージュ「新春エコフェスタ」 | ■ |
| | | そらべあ発電所完成記念式典(福島県須賀川市栄光保育園) | ■ |
| | | そらべあ発電所完成記念式典(宮崎県小林市まがた保育園) | ■ |
| | | そらべあ発電所完成記念式典(広島県広島市場幼稚園) | ■ |
| | 3月 | 環境教育ワークショップ(埼玉県さいたま市岩槻バンビ保育園) | ■ |

■ 出展 ■ 協力 ■ 主催



Supporters Talk



聞き手：
そらべあ基金事務局長
矢名葉登紀子

～ NPO と企業のよりよい関係とは～

NPO 法施行から 11 年。社会的課題の解決に取り組む NPO は、企業や行政のパートナーとして、今や欠かせない存在となっています。企業はそらべあ基金との協働をどう捉え、どういった成果をあげているのか。そらべあ基金のパートナー企業でご活躍されている女性社員の方をお招きし、お話を伺いました。

イオスエナジーマネジメント株式会社
(日本風力開発グループ)
営業部 岡田倫子さん



そらべあグリーン電力証書の営業を担当。企業の CO₂ オフセットソリューションを提案している。

ソニー損害保険株式会社
ダイレクトマーケティング部
松田安弥美さん



ウェブサイトやモバイルの広告企画を担当。同社エコロジーサイトの事務局スタッフとしても活躍中。

——お二人の会社がそらべあ基金と関わった経緯とその取り組みについて教えてください。

岡田：2006 年に東京都が中心となって行った自然エネルギー普及の市民事業「TOKYO ソーラーシティプロジェクト」へのサポートを、当社の社長である塚脇が行いました。この時に、同プロジェクトのキャンペーンキャラクターだったそらべあとの出会いがあり、そらべあ基金の設立から現在に至るまで協力関係を続けております。日本風力開発は風力発電事業者として、日本全国に風車を建て、さらにそこから生まれる環境価値をそらべあグリーン電力証書として販売しています。

——グリーン電力証書の売り上げは、新しい風車の建設にも充てられているんですね。

岡田：全国にグリーン電力を広げていこうというそらべあ基金の目的と、私たちがグリーン電力証書を販売する目的はすごく近いんですね。同じ想いを持っているということも、グリーン電力証書にそらべあマークを付けて、一緒に活動させていただいている理由の一つといえます。

松田：ソニー損保では 2008 年の 12 月末に自

動車保険の保有契約件数が 100 万件を突破したことを機に、そらべあ基金との活動を始めさせていただきました。というのも当社の主力商品は自動車保険であり、CO₂ の増加が原因とされている地球温暖化問題は決して他人事ではなかったのです。そこで、私たちと一緒に地球温暖化防止に取り組むパートナー探しを始めたのですが、そらべあ基金は未来を担う子どもたちにスポットを当てていて、全国の幼稚園に発電所を設置するという活動がすごく身近に感じることができたので、車に乗るお父さんお母さんにもきっと共感していただけるのではないかと考えました。

——ソニー損保の寄付の仕組みって非常にユニークですね。

松田：当社の自動車保険の特徴として、契約時に年間の予想走行距離を申告していただき、翌年の継続時に、申告より走らなかった分については継続くりこし割引という形で、保険料を割引いています。「幼稚園にソーラー発電所を☆プログラム」は、くりこし割引はそのままに、お客様が予想よりも走らなかった距離合計 100 km につき 1 円を当社がそらべあ基金に寄付を行う仕組みです。お客様が商品を買うことで企業が寄付をしたり、エコポイントを付けたりと

いった仕組みが多いなか、お客様の CO₂ 削減に呼応する形で寄付が増えていくソニー損保の取り組みは、よりお客様と一緒に地球温暖化防止に取り組んでいると実感できるプログラムかもしれませんね。

——お二人の話では、企業の商品やサービスとそらべあというキャラクターが一緒になることで、そらべあ基金とはなじみの薄いユーザーさんにも活動を知ってもらえるチャンスになってますね。私たちだけじゃできないような活動が、みなさんが関わることで 1 + 1 が 2 にも 3 にもなる。

岡田：そらべあを当社のキャラクターだと思っていたお客さんがいて、街でそらべあのカレンダーを見つけたらしく、メールをいただいたんですよ。「お宅の配っているカレンダーとはデザインが違う。どういうことなんですか？」って。それでウチとそらべあ基金の関係を説明したところ、より興味を持っていただけたということがありました。一方で、かわいらしいデザインがビジネスライクではないから、ロゴを取ってほしいという声もありましたね。ちょっと悲しいですが(苦笑)

——これは貴重な意見かもしれません(笑)。





そうすると、グリーン電力証書のデザインが何種類かあって選択できたほうがいいのでしょうか？

岡田：もちろんそらべあ抜きの証書を作ることも可能なのですが、私たちとしてはそらべあ基金と一緒に、グリーン電力の普及に取り組んでいることをどんどんアピールしていきたいので、どうしてもそらべあのデザインは残したいんですね。非常に悩ましいところです。

——ソニー損保は、太陽光発電設備を幼稚園に贈っているわけですが、こうした活動に対する世間の評価はいかがですか？

松田：私は寄贈記念式典の様態をブログでレポートしたんですが、それを見た園児の保護者の方からコメントが届き、さらにはその方のブログでもそらべあとその活動のことをご紹介いただきました。この他にも、ご契約者の方から「幼稚園にソーラー発電所を贈る取り組みを知って感動しました」というコメントも寄せられています。エコエコうるさいとか、寄付するなら保険料を下げてくださいといったような意見が来ることも少しは覚悟はしていたんですが(笑)。逆にこうしたエコ活動について、もっと世の中に宣伝した方がいいのではといったアド

バイスをいただくこともあり、非常にありがたいことだと思っています。

——こういった周囲の声にさらに応えるためにも、今後、そらべあ基金に望むことはありますか？

岡田：個人的に感じているのは、そらべあ基金のパンフレットに紹介されている企業が少ないということ。さまざまな企業が関わっていることが見えにくいと、興味を持ってくれた企業でも、サポーターになるのを躊躇してしまうのではないのでしょうか。多くの企業がそらべあ基金の趣旨に賛同していて私たちもそのうちの1社なのだという方が、営業先でも話をしやすいですしね。

松田：ソニー損保としては引き続きこの活動を続けていきたいと考えています。ただ現在は、寄贈後の幼稚園とのコミュニケーションが全くない状態ですので、幼稚園で発電所を設置したことによる効果をどのように感じているのかなど、当社の側でも知ることができればいいなと思っています。お客様の活動によって設置された発電所のその後を、可視化することにもつながりますし。

——私たちとしても、企業や個人の方から寄付をいただいている以上、この活動を通してどのくらいのグリーン電力が生まれて、CO₂の削減ができたのかという具体的な数字を公表しなくてははいけませんね。

岡田：あとはグッズの取り扱い店舗が増えて、もっと一般の人の目に触れる機会が多くなれば、ロゴマークを取ってよという声もなくなるかもしれません(笑)。あと、そらべあファンとしては、新製品のお知らせはここを見れば必ずわかるという場所もあるとうれしいです。

——(そらべあの作者の)カトウシンジ先生にもお伝えしておきます(笑)。最近、NPOと企業の関わり方は寄付以外にも広まりつつあって、弁護士などがその専門性を活かして、NPOに対して無償で法律相談を行う「プロボノ」などはその一つです。そらべあ基金もスタッフ自体は非常に少ない人数で仕事をしていて、たくさんの方々に人手やアイデアの部分でサポートしていただいています。こういった部分でもっと企業の方々にもご参加・ご支援いただけると、お互いに得るものも多く、さらによりよい関係性が築けるのではないのでしょうか。



そらべあサポーターズクラブ一覧

(2010年3月31日現在、五十音順)

「そらべあサポーターズクラブ」は、年間を通して、そらべあ基金の活動をサポートしていただく企業や個人の会員制度です。2009年度も多くのみなさまのご支援により、さまざま活動に取り組むことができました。

プレミアムサポーター

ソニー株式会社、ソニー損害保険株式会社、ソニーマーケティング株式会社、シチズン時計株式会社

そらべあ基金サポーター

ソニー企業株式会社、株式会社ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント、株式会社ホンダソルテック、株式会社ほんやら堂、毎日新聞社

そらべあ基金応援団

Iworkpro 有限会社、アミュー株式会社、株式会社エスケイジャパン、江戸川物産株式会社、株式会社オールス、株式会社小倉陶器、金野タオル株式会社、株式会社 GreenFlash、株式会社サンアート、株式会社サンウェイ・ジャパン、三立製菓株式会社、有限会社スタイルエクリュ、株式会社スモール・プラネット、株式会社天文館むじゃき、日本風力開発株式会社、株式会社ブレイク、株式会社ボルタウ、株式会社丸昌（晴れ着の丸昌 横浜店）、株式会社ロイヤルクラフト

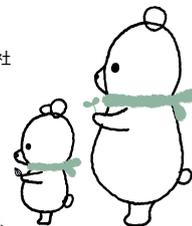
個人・ファミリーサポーター

96名

寄付によるご支援

サポーターとしての協力以外にも、多くのみなさまに寄付という形でご支援いただきました。

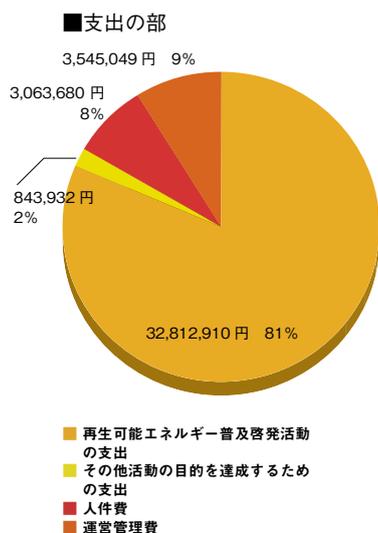
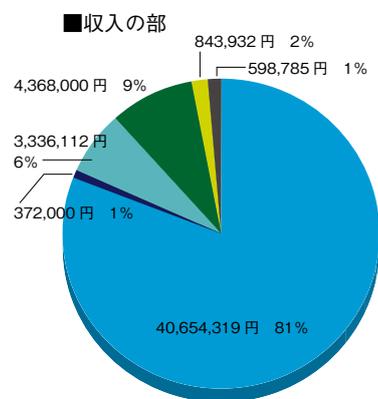
- 家電エコポイントによる寄付 (個人・法人の消費者)
- カリタス女子中学高等学校 (マルグリット祭での募金)
- ソニーエナジー・デバイス株式会社 (イベントでの募金)
- ソニーサプライチェーンソリューション株式会社 (社内向けイベントでの募金)
- ソニーポイントで社会貢献 (ポイント交換による小口募金)
- ソニーマニュファクチャリングシステムズ株式会社 (Edy 切り替えによる募金)
- ビットワレット株式会社・NTT カードソリューション株式会社 (家電エコポイントの商品交換金額の一部を寄付)
- フェリス女子学院 (中高バザーの売上の一部を寄付)
- 株式会社ほんやら堂 (ファンイベントでのオークションの売上の一部寄付)
- Yahoo! ボランティア インターネット募金 (壁紙購入などによる小口募金)



© Shinzi Katoh

そらべあ基金 2009年度 収支計算書 2009年4月1日～2010年3月31日

科目	金額	備考
収入の部		
法人サポーターの会費による収入	40,654,319	サポーターズクラブの法人サポーターの会費
個人サポーターの会費による収入	372,000	サポーターズクラブの個人サポーターの会費
法人の寄付金・募金による収入	3,336,112	インターネット、イベントなど、法人からの募金・寄付
個人の寄付金・募金による収入	4,368,000	学校、イベントなど、個人からの募金・寄付
事業による収入	843,932	著作権使用料
上記以外の雑収入	598,785	預金利息・前年度の未払金取り消し
収入計 (A)	50,173,148	
支出の部		
事業の支出		
再生可能エネルギー普及啓発活動の支出	32,812,910	太陽光パネル購入費、イベント活動費、会員維持費など
その他活動の目的を達成する為の支出	843,932	著作権使用料
管理の支出		
人件費	3,063,680	給与、通勤費、法定福利費
運営管理費	3,545,049	出張費、通信費、倉庫代、消耗品費など
支出計 (B)	40,265,571	
収支計 (C) = (A) - (B)	9,907,577	
正味財産減少の部		
資産減少額	112,160	着ぐるみ減価償却額、ピンバッチ減少額
減少額合計 (E)	112,160	
前期繰越正味財産額 (D)	14,516,769	
当期 (2010年度) 正味財産合計 (F) = (C) + (D) - (E)	24,312,186	



特定非営利活動法人そらべあ基金

〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町1-9-7 岡本ビル3F

TEL : 03-3251-5454 FAX : 03-5256-7344 そらべあ : <http://www.solarbear.jp/>

09年度役員 (敬称略、五十音順)

【代表理事】 岩間敏彦

(フォトライター、特定非営利活動法人里山再生保全ネットワーク代表理事)

【理事】 青木一夫 (コピーライター、特定非営利活動法人エコロジーオンライン監事)

【理事】 箕輪弥生 (環境ライター、マーケティングプランナー)

【理事】 山際康之 (東京造形大学デザイン学科教授)

【監事】 工藤 靖 (アイティメディア株式会社取締役)

【アドバイザー委員】

石野正大 (ソニー株式会社 CSR 部 CSR マネジャー) / 市瀬慎太郎 (イノベーション株式会社代表取締役) / 川口裕之 (毎日新聞社水と緑の地球環境本部部長) / 佐藤岳幸 (毎日新聞社水と緑の地球環境本部記者) / 塚脇正幸 (日本風力開発株式会社代表取締役) / 富田秀実 (ソニー株式会社 CSR 部統括部長) / 藤井和貴 (特定非営利活動法人エコロジーオンライン理事長)

【職員】 矢名葉登紀子 (事務局長)、三澤拓矢